

(第1号様式)

『大学月額奨学金』『多子世帯向け奨学金』貸与申込書

公益財団法人秋田県育英会 理事長 様		平成 30 年 5 月 日	
下記のとおり記載事項に相違ありません。貴会の奨学金の貸与に、関係書類を添え 連帯保証人と連署をして申し込みいたします。			
フリガナ	印	※ 男・女	生年月日
本人氏名			平成 年 月 日
(必ず自署・押印のこと)			
奨学金 申込する	大学月額奨学金	※ 申込みます ・ 申込みません	※両方に申し込んだ場合でも、採用に当たっては大学月額奨学金か多子世帯向け奨学金のどちらかになります。
	多子世帯向け奨学金	※ 申込みます ・ 申込みません	
現住所(住民票を移していない場合も実際に住んでいる場所の住所を記入) 〒 -		電話番号 - -	
フリガナ	印	※ 男・女	生年月日
連帯保証人 (親権者・自署押印) (続柄:本人の)			昭和 年 月 日
住所 〒 -		電話番号 - -	
日中の連絡先(必ず記入してください) - -		※ 携帯 ・ 職場 ・ その他() ※ 父 ・ 母 ・ その他()	
在学学校	大学 (自宅 ・ 自宅外)	学部(短大の場合学科)	
国立私立 の別	※国公立 ・ 私立	修業年数	※ 6年制 ・ 5年制 ・ 4年制 ・ 3年制 ・ 2年制
		在学期間	平成30年4月から 平成 () 年3月まで 在学予定
出身校	小学校卒業		高等学校卒業
	中学校卒業		(高卒認定の方は○をしてください) 高卒認定
家庭状況	【生活状況その他特別な事情等がある場合に記入してください(任意)】		

※の箇所は該当するものを○で囲むこと。

本人と連帯保証人は各自自署し、印鑑は別々のものを使用してください。
鉛筆、消せるペン、修正液等は使用しないでください。

家 族 調 書

同 一 生 計 の 家 族	申 込 者	続柄	氏 名	年齢	職 業 (会社名及び自営の方はその旨)	収入金額 万円	所得金額 万円
		本人				通学別(自宅・自宅外) 兄弟数(家族調書に書かない兄弟も含む数) ____人兄弟姉妹の____番目	
就学者を除く家族	父						
		29年1月～現在までに就・転・退職 どちらかに○(あり →別紙1等添付・なし)					
	母						
		29年1月～現在までに就・転・退職 どちらかに○(あり →別紙1等添付・なし)					
欄が足りない場合は、一行に2名記入する等、全員分をご記入ください。						父母の所得金額合計	
就学者(本人を除く)	続柄	氏 名	※設置者	※通学別	※就学者控除	控除額 万円	
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学		
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学		
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学		
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学		
所得から差し引かれる項目	本人の就学者控除						
	母子・父子世帯 → 当てはまる場合は上の「父」又は「母」欄を空欄としてください。						
	障害のある人がいる世帯 ※いずれかに○ はい の場合は障害者手帳の写しを添付					※(はい・いいえ)	
	両親のいずれかが単身赴任している世帯 ※いずれかに○ はい の場合は家賃が分かる書類等を添付					※(はい・いいえ)	
	長期に療養を必要とする人のいる世帯 ※いずれかに○ はい の場合は確定申告書控え(第一表・第二表)の写しを添付					※(はい・いいえ)	
	火災、風水害、盗難等の被害を受けた世帯 ※いずれかに○ はい の場合はり災証明書等と29年中の被害額の分かる書類の写しを添付					※(はい・いいえ)	
						控除額の合計	

太枠内は記入しないでください。

※の箇所は該当するものを○で囲むこと。

以下の欄には記入しないでください。

所得金額	万円	就学者等 特別控除額	万円	認定所得額	万円
世帯人員別収入基準額		人		成績	